

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 03-4 R1
提出年月日	令和3年5月24日

仕様表に係る補足説明資料

本資料は、【濃縮個別 03-4 R0】の改訂版（R1）である。改訂内容は以下のとおり。

- 別紙1の冒頭に共通06に基づく機種別仕様表の記載の考え方（概念図）を追加した。
- 添付1の仕様表について前回のコメントを踏まえ修正した。主な内容は以下のとおり。
 - ・別紙1の冒頭の考え方に基づき、記載項目を再整理するとともに「－」としたものについて注記を追加した。
 - ・主要材料の欄に規格番号を記載するものとし、ないものの説明を追加した。
 - ・配管の変更後の記載について、発電炉の記載を踏まえ修正した。
 - ・外気圧が960hPaを下回った場合の対応を追記した。
 - ・計器番号の注記の要否について考え方を追記した。
 - ・発電炉を参考に系統名の記載を追加した。
 - ・下端板について材料の記載を追加した。
 - ・高周波インバータ装置について全社設工認作成要領に基づき仕様表を2つに分割した。
- 添付1に濃縮施設以外の機種（ファン、フィルタ、主配管、無停電電源装置、計装/放管設備）の仕様表を追加した。
- 参考資料として加工施設におけるインターロック機能の示し方を追加した。
- 添付2として、全社と濃縮の仕様表展開表の比較を追加した。

※【濃縮個別 03-4 R0】から変更した部分を青字にて示す。

目 次

1. 概要 1
2. 仕様表の記載内容の整理 1

別紙 1 機種別の仕様表の記載方針

1. 概要

本資料は、全社の共通 06 の仕様表の記載方針及びこれまでの濃縮個別ヒアリングにおける技術基準への適合説明の結果等を踏まえ、仕様表の記載内容を整理したものである。

2. 仕様表の記載内容の整理

今回の第 4 回申請及び 2A 後半分遠心機更新に係る仕様表の記載内容について、共通 06 で機種別に整理した基本的な記載パターンを基に、濃縮の既認可の記載事項、事業変更許可申請書及び技術基準規則（様式-6, 7）の要求事項及び発電炉の要目表の記載事項を考慮して、記載すべき事項を整理した。

今回の第 4 回申請及び 2A 後半分遠心機更新に係る機種別の仕様表の記載方針を別紙 1 に示す。

別紙 1

機種別の仕様表の記載方針

機種別の仕様表の記載の考え方（概念図）

共通06 添付-6 仕様表展開表

仕様表展開表

添付-6
(1/5)

機種名	機種分類	機種名	仕様表の構成		仕様表の展開		仕様表の記載		仕様表の展開		仕様表の記載	
			共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
1	凝縮 (燃焼)	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
2	凝縮 (燃焼)	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
3	凝縮 (燃焼)	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
4	バリエーション	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
5	バリエーション	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
6	凝縮 (燃焼)	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請
7	凝縮 (燃焼)	凝縮炉	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請	共通06 (R1)	今回申請

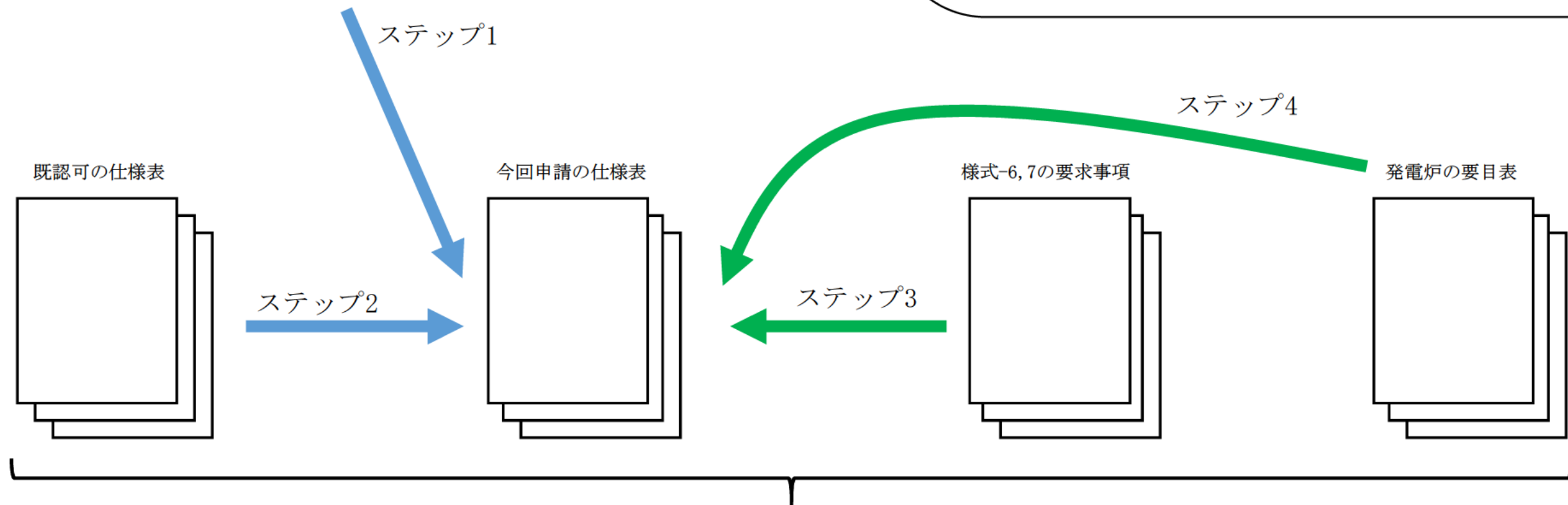
【考え方】

ステップ1: 共通06 (R1) の仕様表展開表 (基本フォーマット) (2021/5/11提出版) を基に、濃縮の機種ごとの仕様表項目を選定する。(基本的な仕様表項目は共通06と同様とするが、濃縮施設の特徴を踏まえ、一部適用されないもの(化学薬品に対する防護、容器の伝熱面積等)を除く。) 全社と濃縮の仕様表展開表の比較を添付2に示す。 また、原則、機種ごとの仕様表展開表 (基本フォーマット) に基づき、仕様表項目を記載するが、個別機器において該当しない(「-」となる)場合には、注記にて「-」とした理由を付す。(仕様表展開表で容器の臨界管理を対象としているが、ウランを取り扱わない機器などは「-」とし、その理由を注記で付す。)

ステップ2: ステップ1の仕様表記載項目に加え、既認可仕様表を確認し、他に追加しなければならぬ項目を抽出する。

ステップ3: 新規規基準を受けて追加になった設計により仕様表に追加すべき項目がないか、要求事項を満足するために必要な仕様が抜けなく反映されているかを確認するために様式-6,7の要求事項を確認し、追加が必要な項目を抽出する。

ステップ4: 発電炉の要目表と比較し、当該機種種の性能、機能を示すうえで必要な項目が抜けなく選定されていることを確認する。



添付1 機種別の仕様表記載例に示す

仕様表記載例（機種：容器（2号圧力調整槽））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>表-13 UFe処理設備の仕様（2号圧力調整槽）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号圧力調整槽</td> <td>区分</td> <td>UFe処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>監視管理</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：大気圧以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>円筒横型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内径：[]mm以下 全長：[]mm 肉厚：[]mm以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ステンレス鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>気体UFe</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付図 図-13、図-24</p> <p>別ハ(ロ)-15</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	2号圧力調整槽	区分	UFe処理設備	台数	1基			設置場所	2号発回均質室			監視管理	—			放射線防護	—			耐震	第2類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下			型式	円筒横型			主要寸法	内径：[]mm以下 全長：[]mm 肉厚：[]mm以上			主要材料	ステンレス鋼			性能	—			核燃料物質の状態	気体UFe			その他	該当しないため、記載を削除。			<p>2. UFe処理設備</p> <p>(1) 容器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称*</td> <td>—</td> <td>2号圧力調整槽</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>円筒横型</td> </tr> <tr> <td>容量*</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*</td> <td>hPa</td> <td>上限：960 下限：0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類*</td> <td>—</td> <td>気体UFe</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>mm</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>胴本体</td> <td>—</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>[]</td> </tr> <tr> <td>個数*</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>発生・供給系</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)*</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <p>*1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。</p> <p>*2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。</p> <p>*3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。</p> <p>*4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。</p> <p>*5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。</p> <p>*6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。</p> <p>*7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。</p> <p>*8：過充填等のおそれのない気体UFeのみを取り扱う機器であり、容量に対する要求事項がないため「—」とする。</p> <p>*9：濃縮度0.95未満のウランを取り扱う機器であり、臨界管理の対象外であるため「—」とする。</p> <p>*10：公称値を示す。</p> <p>*11：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前	変更後	名称*	—	2号圧力調整槽	種類*	—	円筒横型	容量*	—	—*	最高使用圧力*	hPa	上限：960 下限：0	最高使用温度*	℃	40	流体等の種類*	—	気体UFe	臨界管理	—	—*	主要寸法		変更なし	胴内径	mm	[]	全長	mm	[]	胴板厚さ	mm	[]	鏡板の形状に係る寸法	mm	[]	鏡板厚さ	mm	[]	胴本体	—	[]	鏡板	—	[]	個数*	基	1	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	発生・供給系	設置床(室名称)*	—	2号発回均質室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 </td> <td> <p>耐震重要度分類：第〇類</p> <p>主要寸法：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p> </td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐食性を有する材料の使用 </td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不燃性又は難燃性材料の使用 </td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計 </td> <td> <p>最高使用圧力：〇〇hPa</p> <p>最高使用温度：〇〇℃</p> <p>胴内径：〇〇mm</p> <p>胴板厚さ：〇〇mm</p> <p>鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm</p> <p>鏡板厚さ：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 	<p>耐震重要度分類：第〇類</p> <p>主要寸法：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p>	第十条 閉じ込めの機能	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐食性を有する材料の使用 	主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不燃性又は難燃性材料の使用 	主要材料：〇〇	第十五条 材料及び構造	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計 	<p>最高使用圧力：〇〇hPa</p> <p>最高使用温度：〇〇℃</p> <p>胴内径：〇〇mm</p> <p>胴板厚さ：〇〇mm</p> <p>鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm</p> <p>鏡板厚さ：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前*</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td colspan="2">サージタンク</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="2">たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>m³/個</td> <td>[](4.5^{*2})</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用</td> <td>圧</td> </tr> <tr> <td>力</td> <td></td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高</td> <td>使用</td> <td>温</td> </tr> <tr> <td>度</td> <td></td> <td>℃</td> <td>65.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主</td> <td>胴</td> <td>内</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>1500^{*2}</td> </tr> <tr> <td>胴</td> <td>板</td> <td>厚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>[](9.0^{*2})</td> </tr> <tr> <td>鏡</td> <td>板</td> <td>厚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>[](9.0^{*2})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">要</td> <td>鏡</td> <td>板</td> <td>の</td> </tr> <tr> <td>形</td> <td>状</td> <td>に</td> </tr> <tr> <td>係</td> <td>る</td> <td>寸</td> <td>法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>mm</td> <td>1500^{*2} (鏡板中央部内半径) 150^{*2} (鏡板隅の丸み半径)</td> </tr> <tr> <td>平</td> <td>板</td> <td>厚</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>mm</td> <td>9.0^{*2}</td> </tr> <tr> <td>出</td> <td>口</td> <td>管</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>径</td> <td>mm</td> <td>165.2^{*2}</td> </tr> <tr> <td>出</td> <td>口</td> <td>管</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>厚</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>[](7.1^{*2})</td> </tr> <tr> <td>マ</td> <td>ン</td> <td>ホ</td> <td>ール</td> </tr> <tr> <td>管</td> <td>台</td> <td>外</td> <td>径</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>mm</td> <td>457.2^{*2}</td> </tr> <tr> <td>マ</td> <td>ン</td> <td>ホ</td> <td>ール</td> </tr> <tr> <td>管</td> <td>台</td> <td>厚</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>mm</td> <td>[](12.0^{*2})</td> </tr> <tr> <td>マ</td> <td>ン</td> <td>ホ</td> <td>ール</td> </tr> <tr> <td>平</td> <td>板</td> <td>厚</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>mm</td> <td>[](30.0^{*2})</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>2820^{*2}</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>鏡</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>マ</td> <td>ン</td> <td>ホ</td> <td>ール</td> </tr> <tr> <td>平</td> <td>板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取</td> <td>付</td> <td>箇</td> <td>所</td> </tr> <tr> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(</td> <td>ラ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>イ</td> <td>ン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>名</td> <td>)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>原子炉補機冷却系サージタンク</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>[]EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> </tr> <tr> <td>上</td> <td>の</td> <td>区</td> <td>画</td> </tr> <tr> <td>番</td> <td>号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> </tr> <tr> <td>上</td> <td>の</td> <td>配</td> <td>慮</td> </tr> <tr> <td>が</td> <td>必</td> <td>要</td> <td>な</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <p>*1：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*2：公称値を示す。</p>			変更前*	変更後	名	称	サージタンク		種	類	たて置円筒形		容	量	m ³ /個	[](4.5 ^{*2})	最	高	使用	圧	力		MPa	静水頭	最	高	使用	温	度		℃	65.6	主	胴	内	径		mm	1500 ^{*2}	胴	板	厚		さ	mm	[](9.0 ^{*2})	鏡	板	厚		さ	mm	[](9.0 ^{*2})	要	鏡	板	の	形	状	に	係	る	寸	法			mm	1500 ^{*2} (鏡板中央部内半径) 150 ^{*2} (鏡板隅の丸み半径)	平	板	厚	さ			mm	9.0 ^{*2}	出	口	管	台	外	径	mm	165.2 ^{*2}	出	口	管	台	厚	さ	mm	[](7.1 ^{*2})	マ	ン	ホ	ール	管	台	外	径			mm	457.2 ^{*2}	マ	ン	ホ	ール	管	台	厚	さ			mm	[](12.0 ^{*2})	マ	ン	ホ	ール	平	板	厚	さ			mm	[](30.0 ^{*2})	高	さ	mm	2820 ^{*2}	材	質			胴	板	—	SM41A	鏡	板	—	SM41A	マ	ン	ホ	ール	平	板	—	SM41A	個	数	—	1	取	付	箇	所	系	統	名			(ラ			イ	ン			名)			—	原子炉補機冷却系サージタンク	設	置	床	—			—	[]EL.46.50 m	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—	—	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—	—	<p>強度等の評価を伴う管台等について、仕様表に記載する。(全社調整中(未確定事項))</p> <p>変更なし</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目(系統名、区画等)は記載していない。</p>
設備機器名称	2号圧力調整槽	区分	UFe処理設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
台数	1基																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
監視管理	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
型式	円筒横型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
主要寸法	内径：[]mm以下 全長：[]mm 肉厚：[]mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
主要材料	ステンレス鋼																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
性能	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
核燃料物質の状態	気体UFe																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
その他	該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
名称*	—	2号圧力調整槽																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類*	—	円筒横型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
容量*	—	—*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用圧力*	hPa	上限：960 下限：0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
最高使用温度*	℃	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
流体等の種類*	—	気体UFe																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
臨界管理	—	—*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
主要寸法		変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
胴内径	mm	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
全長	mm	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
胴板厚さ	mm	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
鏡板の形状に係る寸法	mm	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
鏡板厚さ	mm	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
胴本体	—	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
鏡板	—	[]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
個数*	基	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
系統名 (ライン名)	—	発生・供給系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設置床(室名称)*	—	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 	<p>耐震重要度分類：第〇類</p> <p>主要寸法：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第十条 閉じ込めの機能	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐食性を有する材料の使用 	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不燃性又は難燃性材料の使用 	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第十五条 材料及び構造	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計 	<p>最高使用圧力：〇〇hPa</p> <p>最高使用温度：〇〇℃</p> <p>胴内径：〇〇mm</p> <p>胴板厚さ：〇〇mm</p> <p>鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm</p> <p>鏡板厚さ：〇〇mm</p> <p>主要材料：〇〇</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		変更前*	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
名	称	サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種	類	たて置円筒形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
容	量	m ³ /個	[](4.5 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
最	高	使用	圧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
力		MPa	静水頭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
最	高	使用	温																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
度		℃	65.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
主	胴	内	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	1500 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	胴	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		さ	mm	[](9.0 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	鏡	板	厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		さ	mm	[](9.0 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
要	鏡	板	の																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	形	状	に																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
係	る	寸	法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	1500 ^{*2} (鏡板中央部内半径) 150 ^{*2} (鏡板隅の丸み半径)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
平	板	厚	さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	9.0 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
出	口	管	台																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
外	径	mm	165.2 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
出	口	管	台																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
厚	さ	mm	[](7.1 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
マ	ン	ホ	ール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
管	台	外	径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	457.2 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
マ	ン	ホ	ール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
管	台	厚	さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	[](12.0 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
マ	ン	ホ	ール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
平	板	厚	さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		mm	[](30.0 ^{*2})																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
高	さ	mm	2820 ^{*2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材	質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
胴	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
鏡	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
マ	ン	ホ	ール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
平	板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
個	数	—	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
取	付	箇	所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	系	統	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		(ラ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		イ	ン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		名)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		—	原子炉補機冷却系サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設	置	床	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		—	[]EL.46.50 m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
溢	水	防	護																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上	の	区	画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番	号	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
溢	水	防	護																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上	の	配	慮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
が	必	要	な																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
高	さ	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6,7等）が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- ：新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6,7等）として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）
- 赤字：仕様表の赤字箇所は、これまでの技術基準への適合説明を踏まえ修正する箇所

仕様表記載例（機種：ポンプ（2号捕集排気系ロータリポンプ））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																		
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>主要設備リストで展開。 該当しないため、記載を削除。</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号捕集排気系ロータリポンプ</td> <td>区分</td> <td>UF₆処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>2/基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：大気圧以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>油回転式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：■■■ 奥行：■■■ 高さ：■■■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>鋼鉄■■■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気速度：■■■³/h/基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF₆を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>四-7、四-24</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設備機器名称	2号捕集排気系ロータリポンプ	区分	UF ₆ 処理設備	台数	2/基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	—			放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下			型式	油回転式			主要寸法	幅：■■■ 奥行：■■■ 高さ：■■■			主要材料	鋼鉄■■■			性能	排気速度：■■■ ³ /h/基			核燃料物質の状態	—			その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。			添付図	四-7、四-24			<p>(2) ポンプ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>2号捕集排気系ロータリポンプ^{*2}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*3}</td> <td>—</td> <td>油回転式</td> </tr> <tr> <td>容量^{*4}</td> <td>—</td> <td>■■■^{m³/h/基}</td> </tr> <tr> <td>揚程又は吐出圧力</td> <td>—</td> <td>—^{*9}</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>—</td> <td>上限：960 下限：0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>—</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>—</td> <td>排ガス</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>■■■</td> <td>■■■</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>■■■</td> <td>■■■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>■■■</td> <td>■■■</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>鋼鉄^{*11}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>捕集排気系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*12}</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>—</td> <td>3.7^{*12}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2^{*12}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室^{*12}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：本機器は、ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロックの機能を有する設計とする。 *9：真空ポンプであり、揚程、吐出圧力は設計条件としないため「—」とする。 *10：本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *11：UF₆を内包する機器ではなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *12：既設工認の仕様表に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	2号捕集排気系ロータリポンプ ^{*2}	種類 ^{*3}	—	油回転式	容量 ^{*4}	—	■■■ ^{m³/h/基}	揚程又は吐出圧力	—	— ^{*9}	最高使用圧力 ^{*4}	—	上限：960 下限：0	最高使用温度 ^{*4}	—	40	流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス	臨界管理	—	— ^{*10}	主要寸法			たて	■■■	■■■	横	■■■	■■■	高さ	■■■	■■■	主要材料	—	鋼鉄 ^{*11}	ケーシング	—	—	個数 ^{*6}	—	2	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	捕集排気系	設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室	種類	—	誘導電動機 ^{*12}	出力	—	3.7 ^{*12}	個数	—	2 ^{*12}	取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*12}	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 ・UF₆を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 ・UF₆を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>うず巻形^{*2}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>124.9以上^{*3} (124.9^{*4})</td> </tr> <tr> <td>揚程</td> <td>—</td> <td>91.4以上^{*3} (91.4^{*4})</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>—</td> <td>1.37^{*3}</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>—</td> <td>65.6^{*3}</td> </tr> <tr> <td>吸込内径</td> <td>—</td> <td>150^{*4, *6}</td> </tr> <tr> <td>吐出内径</td> <td>—</td> <td>80^{*4, *6}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング厚さ</td> <td>—</td> <td>14.0^{*3, *4}</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>—</td> <td>185^{*4, *6}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>—</td> <td>968^{*3, *4}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>—</td> <td>704^{*4, *6}</td> </tr> <tr> <td>ケーシング^{*7}</td> <td>—</td> <td>SC46</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系^{*3}</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.29.00 m^{*3}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>RB-4-19</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要高さ</td> <td>—</td> <td>EL.29.20 m以上</td> </tr> </tbody> </table>	名称	変更前	変更後	種類	—	うず巻形 ^{*2}	容量	—	124.9以上 ^{*3} (124.9 ^{*4})	揚程	—	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})	最高使用圧力	—	1.37 ^{*3}	最高使用温度	—	65.6 ^{*3}	吸込内径	—	150 ^{*4, *6}	吐出内径	—	80 ^{*4, *6}	ケーシング厚さ	—	14.0 ^{*3, *4}	たて	—	185 ^{*4, *6}	横	—	968 ^{*3, *4}	高さ	—	704 ^{*4, *6}	ケーシング ^{*7}	—	SC46	個数	—	2	系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系 ^{*3}	設置床	—	EL.29.00 m ^{*3}	溢水防護上の区画番号	—	RB-4-19	溢水防護上の配慮が必要高さ	—	EL.29.20 m以上	<p>耐圧強度評価の対象外の機器であるため、厚さ等は記載していない。</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
設備機器名称	2号捕集排気系ロータリポンプ	区分	UF ₆ 処理設備																																																																																																																																																																																																			
台数	2/基																																																																																																																																																																																																					
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																					
臨界管理	—																																																																																																																																																																																																					
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																					
耐震	第3類																																																																																																																																																																																																					
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下																																																																																																																																																																																																					
型式	油回転式																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	幅：■■■ 奥行：■■■ 高さ：■■■																																																																																																																																																																																																					
主要材料	鋼鉄■■■																																																																																																																																																																																																					
性能	排気速度：■■■ ³ /h/基																																																																																																																																																																																																					
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																																																																					
その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF ₆ を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。																																																																																																																																																																																																					
添付図	四-7、四-24																																																																																																																																																																																																					
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																				
名称 ^{*1}	—	2号捕集排気系ロータリポンプ ^{*2}																																																																																																																																																																																																				
種類 ^{*3}	—	油回転式																																																																																																																																																																																																				
容量 ^{*4}	—	■■■ ^{m³/h/基}																																																																																																																																																																																																				
揚程又は吐出圧力	—	— ^{*9}																																																																																																																																																																																																				
最高使用圧力 ^{*4}	—	上限：960 下限：0																																																																																																																																																																																																				
最高使用温度 ^{*4}	—	40																																																																																																																																																																																																				
流体等の種類 ^{*5}	—	排ガス																																																																																																																																																																																																				
臨界管理	—	— ^{*10}																																																																																																																																																																																																				
主要寸法																																																																																																																																																																																																						
たて	■■■	■■■																																																																																																																																																																																																				
横	■■■	■■■																																																																																																																																																																																																				
高さ	■■■	■■■																																																																																																																																																																																																				
主要材料	—	鋼鉄 ^{*11}																																																																																																																																																																																																				
ケーシング	—	—																																																																																																																																																																																																				
個数 ^{*6}	—	2																																																																																																																																																																																																				
取付箇所																																																																																																																																																																																																						
系統名 (ライン名)	—	捕集排気系																																																																																																																																																																																																				
設置床 (室名称) ^{*7}	—	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																				
種類	—	誘導電動機 ^{*12}																																																																																																																																																																																																				
出力	—	3.7 ^{*12}																																																																																																																																																																																																				
個数	—	2 ^{*12}																																																																																																																																																																																																				
取付箇所	—	2号発回均質室 ^{*12}																																																																																																																																																																																																				
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																				
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																				
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																				
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																				
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・UF ₆ を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																				
名称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																				
種類	—	うず巻形 ^{*2}																																																																																																																																																																																																				
容量	—	124.9以上 ^{*3} (124.9 ^{*4})																																																																																																																																																																																																				
揚程	—	91.4以上 ^{*3} (91.4 ^{*4})																																																																																																																																																																																																				
最高使用圧力	—	1.37 ^{*3}																																																																																																																																																																																																				
最高使用温度	—	65.6 ^{*3}																																																																																																																																																																																																				
吸込内径	—	150 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																				
吐出内径	—	80 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																				
ケーシング厚さ	—	14.0 ^{*3, *4}																																																																																																																																																																																																				
たて	—	185 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																				
横	—	968 ^{*3, *4}																																																																																																																																																																																																				
高さ	—	704 ^{*4, *6}																																																																																																																																																																																																				
ケーシング ^{*7}	—	SC46																																																																																																																																																																																																				
個数	—	2																																																																																																																																																																																																				
系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系 ^{*3}																																																																																																																																																																																																				
設置床	—	EL.29.00 m ^{*3}																																																																																																																																																																																																				
溢水防護上の区画番号	—	RB-4-19																																																																																																																																																																																																				
溢水防護上の配慮が必要高さ	—	EL.29.20 m以上																																																																																																																																																																																																				
<p>別ハ(ロ)-9</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	<p>【補足説明】(全社調整中(未確定事項))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式-6,7の機能要求に基づき、強度評価等を伴う設備の材料は、規格番号を記載し、検査において評価どおりの材料が使用されていることを材料証明書等により確認する。 ・強度評価等を伴わない設備の材料は、火災発生防止の観点から材料名(規格番号無し)を記載し、検査において不燃性又は難燃性材料であることをメーカー記録等により確認する。 	<p>【補足説明】(全社調整中(未確定事項))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式-6,7の機能要求に基づき、強度評価等を伴う設備の材料は、規格番号を記載し、検査において評価どおりの材料が使用されていることを材料証明書等により確認する。 ・強度評価等を伴わない設備の材料は、火災発生防止の観点から材料名(規格番号無し)を記載し、検査において不燃性又は難燃性材料であることをメーカー記録等により確認する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*8}</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>—</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>ポンプと同じ^{*2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻型」と記載。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：公称値を示す。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。 *6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建設発第98号にて届け出した工事計画書の添付図面「第6-5図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鋼」と記載。 *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。</p>		変更前	変更後	種類	—	誘導電動機 ^{*8}	出力	—	55	個数	—	2	取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*2}																																																																																																																																																																																				
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																				
種類	—	誘導電動機 ^{*8}																																																																																																																																																																																																				
出力	—	55																																																																																																																																																																																																				
個数	—	2																																																																																																																																																																																																				
取付箇所	—	ポンプと同じ ^{*2}																																																																																																																																																																																																				

仕様表記載例（機種：主配管（2号UF₆処理設備））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																										
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-23 UF₆処理設備の仕様（主要配管）</p> <table border="1"> <tr><td>設備機器名称</td><td>主要配管</td><td>UF₆処理設備</td></tr> <tr><td>台数</td><td>一式</td><td></td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室</td><td></td></tr> <tr><td>境界管理</td><td colspan="2">核的制限値：濃縮度5%以下</td></tr> <tr><td>放射線防護</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>耐震</td><td>第1類</td><td>第2類</td></tr> <tr><td>材料・構造（温度、圧力）</td><td colspan="2">温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下</td></tr> <tr><td>型式</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td colspan="2">呼び径：15A～250A</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td colspan="2">ステンレス鋼</td></tr> <tr><td>性能</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>核燃料物質の状態</td><td colspan="2">気体UF₆</td></tr> <tr><td>その他</td><td colspan="2"> (1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止弁を設けることにより、UF₆の漏えいを防止する。 (2) UF₆の配管中での凝固を防ぐため、UF₆圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 加熱を要する配管の温度が\squareを越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。 本インターロックを控へ部に添す。 (3) 弁は、無漏えい弁（ベローシール弁）を用いる。 </td></tr> <tr><td>添付図</td><td colspan="2">図-25</td></tr> </table> <p>別ハ（ロ）-25</p> <p>事業変更許可において生産系のインターロックに位置付けを変更しているため、記載を削除。（本生産系インターロックは事業変更許可添付書類のみに記載）</p> <p>工事における隔離措置として工事の方法に展開。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>【補足説明】（全社調整中（未確定事項）） 生産系インターロックのような自主設置設備であっても、事業変更許可本文の記載事項であれば、設工認本文記載対象とする。</p>	設備機器名称	主要配管	UF ₆ 処理設備	台数	一式		設置場所	2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室		境界管理	核的制限値：濃縮度5%以下		放射線防護			耐震	第1類	第2類	材料・構造（温度、圧力）	温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下		型式			主要寸法	呼び径：15A～250A		主要材料	ステンレス鋼		性能			核燃料物質の状態	気体UF ₆		その他	(1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止弁を設けることにより、UF ₆ の漏えいを防止する。 (2) UF ₆ の配管中での凝固を防ぐため、UF ₆ 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 加熱を要する配管の温度が \square を越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。 本インターロックを控へ部に添す。 (3) 弁は、無漏えい弁（ベローシール弁）を用いる。		添付図	図-25		<p>仕様表案</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-0)</td> <td>呼び径：15A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-1)</td> <td>呼び径：20A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-2)</td> <td>呼び径：25A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-3)</td> <td>呼び径：30A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-4)</td> <td>呼び径：40A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-5)</td> <td>呼び径：50A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-6)</td> <td>呼び径：60A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-7)</td> <td>呼び径：75A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-8)</td> <td>呼び径：90A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-9)</td> <td>呼び径：100A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1：配管の遠征化、既設工場には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *2：配管の遠征化、既設工場には「核燃料物質の状態」と記載。 *3：配管の遠征化、既設工場には「主要寸法」と記載。 *4：本文面は、0.95%未満のUF₆を取り扱う区画であり、境界管理の対象外であるため「1」とする。 *5：本文面は、0.95%未満のUF₆を取り扱う区画であり、境界管理の対象外であるため「1」とする。 *6：本配管には保温材を使用する。 </p>	品名	仕様	単位	数量	備考	2号室配管(U-0)	呼び径：15A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-1)	呼び径：20A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-2)	呼び径：25A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-3)	呼び径：30A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-4)	呼び径：40A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-5)	呼び径：50A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-6)	呼び径：60A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-7)	呼び径：75A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-8)	呼び径：90A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-9)	呼び径：100A 材質：SUS316L	m	100		<p>要求事項の整理</p> <p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第四条 核燃料物質の境界防止</td> <td>【手段：設備】 濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせて管理</td> <td>核的制限値： 濃縮度：〇〇%</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 耐食性を有する材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>【手段：設備】 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計</td> <td>主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </table> <p>【補足説明】 変更がある部分の配管の記載方法については、発電炉と同様の記載とする。</p>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の境界防止	【手段：設備】 濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせて管理	核的制限値： 濃縮度：〇〇%	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 耐食性を有する材料の使用	主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	<p>発電炉類似設備要目表</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-0)</td> <td>呼び径：15A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-1)</td> <td>呼び径：20A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-2)</td> <td>呼び径：25A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-3)</td> <td>呼び径：30A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-4)</td> <td>呼び径：40A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-5)</td> <td>呼び径：50A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-6)</td> <td>呼び径：60A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-7)</td> <td>呼び径：75A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-8)</td> <td>呼び径：90A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2号室配管(U-9)</td> <td>呼び径：100A 材質：SUS316L</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table>	品名	仕様	単位	数量	備考	2号室配管(U-0)	呼び径：15A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-1)	呼び径：20A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-2)	呼び径：25A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-3)	呼び径：30A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-4)	呼び径：40A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-5)	呼び径：50A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-6)	呼び径：60A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-7)	呼び径：75A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-8)	呼び径：90A 材質：SUS316L	m	100		2号室配管(U-9)	呼び径：100A 材質：SUS316L	m	100		<p>備考</p>
設備機器名称	主要配管	UF ₆ 処理設備																																																																																																																																																																												
台数	一式																																																																																																																																																																													
設置場所	2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室																																																																																																																																																																													
境界管理	核的制限値：濃縮度5%以下																																																																																																																																																																													
放射線防護																																																																																																																																																																														
耐震	第1類	第2類																																																																																																																																																																												
材料・構造（温度、圧力）	温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下																																																																																																																																																																													
型式																																																																																																																																																																														
主要寸法	呼び径：15A～250A																																																																																																																																																																													
主要材料	ステンレス鋼																																																																																																																																																																													
性能																																																																																																																																																																														
核燃料物質の状態	気体UF ₆																																																																																																																																																																													
その他	(1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止弁を設けることにより、UF ₆ の漏えいを防止する。 (2) UF ₆ の配管中での凝固を防ぐため、UF ₆ 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 加熱を要する配管の温度が \square を越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。 本インターロックを控へ部に添す。 (3) 弁は、無漏えい弁（ベローシール弁）を用いる。																																																																																																																																																																													
添付図	図-25																																																																																																																																																																													
品名	仕様	単位	数量	備考																																																																																																																																																																										
2号室配管(U-0)	呼び径：15A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-1)	呼び径：20A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-2)	呼び径：25A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-3)	呼び径：30A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-4)	呼び径：40A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-5)	呼び径：50A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-6)	呼び径：60A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-7)	呼び径：75A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-8)	呼び径：90A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-9)	呼び径：100A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																												
第四条 核燃料物質の境界防止	【手段：設備】 濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせて管理	核的制限値： 濃縮度：〇〇%																																																																																																																																																																												
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																												
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 耐食性を有する材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																												
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																												
第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 全体的な変形を弾性域に抑える設計 座屈が生じない設計	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																												
品名	仕様	単位	数量	備考																																																																																																																																																																										
2号室配管(U-0)	呼び径：15A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-1)	呼び径：20A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-2)	呼び径：25A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-3)	呼び径：30A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-4)	呼び径：40A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-5)	呼び径：50A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-6)	呼び径：60A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-7)	呼び径：75A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-8)	呼び径：90A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											
2号室配管(U-9)	呼び径：100A 材質：SUS316L	m	100																																																																																																																																																																											

主要設備リストで展開。

仕様表記載例（機種：機械装置（2号発生槽））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																		
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け6安（核規）第665号】 該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 UFs 処理設備の仕様（2号発生槽）</p> <table border="1"><tr><td>設備機器名称</td><td>2号発生槽</td><td>UFs 処理設備</td></tr><tr><td>台数</td><td>7基</td><td></td></tr><tr><td>設置場所</td><td>2号発回均質室</td><td></td></tr></table> <p>設計 放射線防護</p> <p>条件 耐震 第1類（槽本体）</p> <p>仕様 材料・構造（温度、圧力） 温度：100℃（原料シリンダの熱的制限値は121℃） 圧力：—</p> <p>型式 温水加熱式（直接加熱）、裝荷物：原料シリンダ1本/基</p> <p>主要寸法 幅：—mm 全長：—mm 高さ：—mm</p> <p>主要材料 炭素鋼（槽本体）</p> <p>性能</p> <p>燃料物質の状態 固体UFs</p> <p>その他 加熱中に2号発生槽原料シリンダ圧力又は2号発生槽内温度がそれぞれ720Torr、—を越えない範囲で警報を発生し、自動的に加熱用温水の供給を停止する。本インターロックを図-26に示す。</p> <p>添付図 図-1、図-24</p> <p>別ハ(ロ)-3</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	2号発生槽	UFs 処理設備	台数	7基		設置場所	2号発回均質室		<p>(4) 機械装置類</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr></thead><tbody><tr><td>名称*</td><td>—</td><td>2号発生槽**</td></tr><tr><td>種類*</td><td>—</td><td>温水加熱式（直接加熱）</td></tr><tr><td>容量</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>最高使用圧力*</td><td>hPa</td><td>上限：960 下限：0</td></tr><tr><td>最高使用温度*</td><td>℃</td><td>100</td></tr><tr><td>流体等の種類*</td><td>—</td><td>固体UFs、気体UFs</td></tr><tr><td>臨界管理</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">主要寸法</td><td rowspan="4">カバー</td><td>たて mm</td><td>—</td></tr><tr><td>横 mm</td><td>—</td></tr><tr><td>高さ mm</td><td>—</td></tr><tr><td>高さ mm</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">槽本体</td><td>たて mm</td><td>—</td></tr><tr><td>横 mm</td><td>—</td></tr><tr><td>高さ mm</td><td>—</td></tr><tr><td>高さ mm</td><td>—</td></tr><tr><td>主要材料</td><td>カバー</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>槽本体</td><td>—</td></tr><tr><td>個数*</td><td>基</td><td>7</td></tr><tr><td>取付箇所</td><td>系統名（ライン名）</td><td>発生・供給系</td></tr><tr><td></td><td>設置床（室名称）</td><td>2号発回均質室</td></tr></tbody></table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「燃料物質の状態」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7：2号発生槽への装荷物は原料シリンダ1本/基とし、シリンダ搬送用台車を有する設計とする。 *8：本機器は、圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック（検出器：原料シリンダ内圧力計、発生槽内温度計）、地震発生時の加熱停止のインターロック（検出器：地震計）、温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック（検出器：温水ユニット温度計）の機能を有する設計とする。 *9：本機器はシリンダと槽内に装填してUFsを取り扱う機器であり、槽自体には貯留する機能がないため「—」とする。 *10：装荷物（原料シリンダ1本/基）は、取り扱うUFsの濃縮度が0.95%以下であることから臨界管理を必要としない。 *11：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>		変更前	変更後	名称*	—	2号発生槽**	種類*	—	温水加熱式（直接加熱）	容量	—	—	最高使用圧力*	hPa	上限：960 下限：0	最高使用温度*	℃	100	流体等の種類*	—	固体UFs、気体UFs	臨界管理	—	—	主要寸法	カバー	たて mm	—	横 mm	—	高さ mm	—	高さ mm	—	槽本体	たて mm	—	横 mm	—	高さ mm	—	高さ mm	—	主要材料	カバー	—		槽本体	—	個数*	基	7	取付箇所	系統名（ライン名）	発生・供給系		設置床（室名称）	2号発回均質室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"><thead><tr><th>技術基準</th><th>機能要求② 様式-6,7</th><th>主な仕様 （詳細設計）</th></tr></thead><tbody><tr><td>第六条 地震による損傷の防止</td><td>【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td><td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td></tr><tr><td>第十条 閉じ込め機能</td><td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける</td><td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇</td></tr><tr><td>第十一条 火災等による損傷の防止</td><td>【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用</td><td>主要材料：〇〇</td></tr><tr><td>第十八条 警報設備等</td><td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける</td><td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇</td></tr></tbody></table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 （詳細設計）	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込め機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇	<p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	
設備機器名称	2号発生槽	UFs 処理設備																																																																																				
台数	7基																																																																																					
設置場所	2号発回均質室																																																																																					
	変更前	変更後																																																																																				
名称*	—	2号発生槽**																																																																																				
種類*	—	温水加熱式（直接加熱）																																																																																				
容量	—	—																																																																																				
最高使用圧力*	hPa	上限：960 下限：0																																																																																				
最高使用温度*	℃	100																																																																																				
流体等の種類*	—	固体UFs、気体UFs																																																																																				
臨界管理	—	—																																																																																				
主要寸法	カバー	たて mm	—																																																																																			
		横 mm	—																																																																																			
		高さ mm	—																																																																																			
		高さ mm	—																																																																																			
槽本体	たて mm	—																																																																																				
	横 mm	—																																																																																				
	高さ mm	—																																																																																				
	高さ mm	—																																																																																				
主要材料	カバー	—																																																																																				
	槽本体	—																																																																																				
個数*	基	7																																																																																				
取付箇所	系統名（ライン名）	発生・供給系																																																																																				
	設置床（室名称）	2号発回均質室																																																																																				
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 （詳細設計）																																																																																				
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																				
第十条 閉じ込め機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇																																																																																				
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																				
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇																																																																																				

仕様表記載例（機種：計装／放管設備（2号製品コールドトラップの計測制御系））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																	
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>(5) 計装／放管設備 2号製品コールドトラップの計測制御系</p> <table border="1" data-bbox="742 289 1377 743"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td colspan="2">製品コールドトラップ内圧力計^{※1}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>絶対圧力伝送器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>hPa</td> <td>0 ~ 1333</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td></td> <td>大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>製品コールドトラップ内圧力^{※1}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1：既設工事に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称	製品コールドトラップ内圧力計 ^{※1}			検出器の種類	—	絶対圧力伝送器		計測範囲	hPa	0 ~ 1333		警報動作範囲		大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)	変更なし	個数	台	4		取付箇所	系統名 (ライン名)	製品コールドトラップ内圧力 ^{※1}		設置床 (室名称)	—	2号発回均質室		<p>【様式-6, 7等の整理により機能要求②としたもの】 (当該計装／放管設備に係る要求事項を再掲)</p> <table border="1" data-bbox="1400 302 2000 772"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6, 7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇	<p>(8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数</p> <table border="1" data-bbox="2024 394 2481 1633"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> <th>計測範囲</th> <th>設置場所</th> <th>個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>使用済燃料プールの温度*</td> <td>0~100</td> <td>熱電対</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>使用済燃料プールの温度</td> <td>—</td> <td>EL. 46.50 m</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	種別	名称	計測範囲	設置場所	個数	—	使用済燃料プールの温度*	0~100	熱電対	—	—	使用済燃料プールの温度	—	EL. 46.50 m	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																		
名称	製品コールドトラップ内圧力計 ^{※1}																																																																																				
検出器の種類	—	絶対圧力伝送器																																																																																			
計測範囲	hPa	0 ~ 1333																																																																																			
警報動作範囲		大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)	変更なし																																																																																		
個数	台	4																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	製品コールドトラップ内圧力 ^{※1}																																																																																			
設置床 (室名称)	—	2号発回均質室																																																																																			
技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																			
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇																																																																																			
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇hPa 警報動作範囲：〇〇																																																																																			
種別	名称	計測範囲	設置場所	個数																																																																																	
—	使用済燃料プールの温度*	0~100	熱電対	—																																																																																	
—	使用済燃料プールの温度	—	EL. 46.50 m	1																																																																																	
—	—	—	—	—																																																																																	
—	—	—	—	—																																																																																	
—	—	—	—	—																																																																																	
—	—	—	—	—																																																																																	
—	—	—	—	—																																																																																	

【補足説明】

- ・外気圧が960hPaを下回ったとしても、UF₀の系統内は全て鋼製の密閉容器に収納されており、閉じ込め等の安全機能への影響はない。また、実際の系統内の圧力の設定値は960hPaから十分に余裕を見込んだ値としている。
- ・上記のとおり、安全性には直接的に影響はないが、運用として六ヶ所村への大型台風の上陸等により大気圧が960hPaを下回るおそれがある場合は、気圧の監視を強化し、実際の設定値を下回る前に機器の加熱を停止すること等を警報設備等に係る説明書で明確にする。

【補足説明】（全社調整中（未確定事項））

計器番号等の注釈を削除した。発電炉では、複数の計器について、設置床、溢水防護上の区画番号、溢水防護上の配慮が必要な高さが異なる場合に、どの計器が該当するのかを明確にするための識別として記載している。今回設置床等は同一であり、識別の必要がないため削除。

【補足説明】（全社調整中（未確定事項））

発電炉の記載に合わせて、測定箇所が分かる記載とした。なお、系統名（ライン名）の具体的な記載方針については全社調整中。

仕様表記載例（機種：遠心分離機（遠心分離機 RE-2A 後半））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																											
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>(2) 機械装置類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>遠心分離機 (RE-XXXXXXXXXX)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>hPa</td> <td>—</td> <td>上限：960 下限：0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>—</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>気体 UF₆</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>核的制限値</td> <td>濃縮度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主要寸法</td> <td rowspan="2">上フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ケーシング</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下端板</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>外周部肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブロック配管</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>上フランジ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下端板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下フランジ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブロック配管</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>個数</td> <td>機</td> <td>RE-XXXXXXXXXX RE-XXXXXXXXXX</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>2A カスケード系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>2A カスケード室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：金属銅遠心機から新型遠心機への変更であるが、金属銅遠心機については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請（第1回～第5回申請）の第3回申請」にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「—」とする。 *2：公称値を示す。 *3：別紙「アルミニウム合金規格表」参照。</p>			変更前	変更後	名称	—	—	遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)	種類	—	—	—	最高使用圧力	hPa	—	上限：960 下限：0	最高使用温度	℃	—	40	流体等の種類	—	—	気体 UF ₆	臨界管理	核的制限値	濃縮度	%				5 以下	主要寸法	上フランジ	肉厚	mm	胴内径	mm	ケーシング	高さ	mm	肉厚	mm	下端板	外径	mm	外周部肉厚	mm	下フランジ	肉厚	mm	外径	mm	ブロック配管	外径	mm	厚さ	mm	主要材料	上フランジ	—	—	ケーシング	—	—	下端板	—	—	下フランジ	—	—		ブロック配管	—	—	取付箇所	個数	機	RE- XXXXXXXXXX RE- XXXXXXXXXX	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系		設置床 (室名称)	—	2A カスケード室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理</td> <td>核的制限値： 濃縮度：〇〇%</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計</td> <td>主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計</td> <td>主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇 hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)		様式-6,7		第四条 核燃料物質の臨界防止	【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理	核的制限値： 濃縮度：〇〇%	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇 hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	<p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																																																																												
名称	—	—	遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)																																																																																																												
種類	—	—	—																																																																																																												
最高使用圧力	hPa	—	上限：960 下限：0																																																																																																												
最高使用温度	℃	—	40																																																																																																												
流体等の種類	—	—	気体 UF ₆																																																																																																												
臨界管理	核的制限値	濃縮度	%																																																																																																												
			5 以下																																																																																																												
主要寸法	上フランジ	肉厚	mm																																																																																																												
		胴内径	mm																																																																																																												
	ケーシング	高さ	mm																																																																																																												
		肉厚	mm																																																																																																												
	下端板	外径	mm																																																																																																												
		外周部肉厚	mm																																																																																																												
	下フランジ	肉厚	mm																																																																																																												
		外径	mm																																																																																																												
	ブロック配管	外径	mm																																																																																																												
		厚さ	mm																																																																																																												
主要材料	上フランジ	—	—																																																																																																												
	ケーシング	—	—																																																																																																												
	下端板	—	—																																																																																																												
	下フランジ	—	—																																																																																																												
	ブロック配管	—	—																																																																																																												
取付箇所	個数	機	RE- XXXXXXXXXX RE- XXXXXXXXXX																																																																																																												
	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系																																																																																																												
	設置床 (室名称)	—	2A カスケード室																																																																																																												
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																													
	様式-6,7																																																																																																														
第四条 核燃料物質の臨界防止	【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理	核的制限値： 濃縮度：〇〇%																																																																																																													
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																													
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計	主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																													
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																													
第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇 hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																													

【補足説明】
下端板は、破壊評価試験に関連する評価部位であることを踏まえ、主要材料の記載を追加する。

仕様表記載例（機種：高周波インバータ装置（2A 後半高周波インバータ装置））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																														
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>2. 高周波電源設備</p> <table border="1" data-bbox="756 241 1377 661"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>■高周波インバータ装置*</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2250</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>筐体</td> <td>-</td> <td>炭素鋼*</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-*</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td>-</td> <td>2号高周波電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 金属調速機駆動用から新型遠心機駆動用の高周波インバータ装置への変更であるが、金属調速機駆動用の高周波インバータ装置については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請（第1回～第5回申請）の第3回申請」にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「-」とする。 *2: 本機器は、遠心機過回転防止機能の機能を有する設計とする。 *3: UFeを内包する機器ではなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *4: 系統名がないため「-」とする。</p> <table border="1" data-bbox="756 1018 1377 1438"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>■高周波インバータ装置*</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2250</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>筐体</td> <td>-</td> <td>炭素鋼*</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>-</td> <td>-*</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td>-</td> <td>2号高周波電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 金属調速機駆動用から新型遠心機駆動用の高周波インバータ装置への変更であるが、金属調速機駆動用の高周波インバータ装置については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請（第1回～第5回申請）の第3回申請」にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「-」とする。 *2: 本機器は、遠心機過回転防止機能の機能を有する設計とする。 *3: UFeを内包する機器ではなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *4: 系統名がないため「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称	-		■高周波インバータ装置*	種類	-		■	周波数	Hz		■	主要寸法	たて	mm	1000	横	mm	2400	高さ	mm	2250	主要材料	筐体	-	炭素鋼*	個数	台	■	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-*	設置床(室名称)	-	2号高周波電源室			変更前	変更後	名称	-		■高周波インバータ装置*	種類	-		■	周波数	Hz		■	主要寸法	たて	mm	1000	横	mm	1600	高さ	mm	2250	主要材料	筐体	-	炭素鋼*	個数	台	■	取付箇所	系統名(ライン名)	-	-*	設置床(室名称)	-	2号高周波電源室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1" data-bbox="1400 241 2000 829"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td rowspan="2">耐震重要度分類:第〇類 主要寸法:〇〇mm 主要材料:〇〇</td> </tr> <tr> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料:〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける</td> <td>周波数:〇〇Hz</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類:第〇類 主要寸法:〇〇mm 主要材料:〇〇	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料:〇〇	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける	周波数:〇〇Hz	<p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	<p>備考</p>
		変更前	変更後																																																																																															
名称	-		■高周波インバータ装置*																																																																																															
種類	-		■																																																																																															
周波数	Hz		■																																																																																															
主要寸法	たて	mm	1000																																																																																															
	横	mm	2400																																																																																															
	高さ	mm	2250																																																																																															
主要材料	筐体	-	炭素鋼*																																																																																															
	個数	台	■																																																																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-*																																																																																															
	設置床(室名称)	-	2号高周波電源室																																																																																															
		変更前	変更後																																																																																															
名称	-		■高周波インバータ装置*																																																																																															
種類	-		■																																																																																															
周波数	Hz		■																																																																																															
主要寸法	たて	mm	1000																																																																																															
	横	mm	1600																																																																																															
	高さ	mm	2250																																																																																															
主要材料	筐体	-	炭素鋼*																																																																																															
	個数	台	■																																																																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	-	-*																																																																																															
	設置床(室名称)	-	2号高周波電源室																																																																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																
	様式-6,7																																																																																																	
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類:第〇類 主要寸法:〇〇mm 主要材料:〇〇																																																																																																
	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用																																																																																																	
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料:〇〇																																																																																																
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける	周波数:〇〇Hz																																																																																																

【補足説明】
 全社作成要領において、「同一仕様の設備は、仕様表を1つにまとめてよい」としているが、本設備は仕様（寸法）が異なるものを1つにまとめていたため、2つに見直した。（仕様表を2つに分割）

該当しないため、記載を削除。

仕様表記載例（機種：ファン（1号均質室系排風機））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																				
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-8 気体廃棄物の廃棄設備の仕様（均質室系排風機）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>均質室系排風機</td> <td>区分</td> <td>放射性廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>2基 (100%×2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2・類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>遠心式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼(SS41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>風量：78000m³/h/基以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-14に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付図 図-8、図-14</p> <p>別添(イ)-10</p>	設備機器名称	均質室系排風機	区分	放射性廃棄物の廃棄設備	台数	2基 (100%×2)			設置場所	排気室			臨界管理				放射線防護				耐震	第2・類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—			型式	遠心式			主要寸法	幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm			主要材料	炭素鋼(SS41)			性能	風量：78000m ³ /h/基以上			燃料物質の状態				その他	(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-14に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。			<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr> <th>名称*</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>名称*</td> <td>—</td> <td>1号均質室系排風機*</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>遠心式</td> </tr> <tr> <td>容量(風量)*</td> <td>m³/h/基</td> <td>78000</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*</td> <td>—</td> <td>—⁹⁾</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類*</td> <td>—</td> <td>空気</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1880</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3350</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2650</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼¹⁰⁾</td> </tr> <tr> <td>ケージング</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数*</td> <td>基</td> <td>2(内予備1)</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>1号均質室系</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)*</td> <td>—</td> <td>排気室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—¹¹⁾</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>mm</td> <td>—¹²⁾</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機¹³⁾</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>90¹³⁾</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>2(内予備1)¹²⁾</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>排気室¹³⁾</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度、圧力)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：本機器は、第1種管理区域の排気機能維持の機能を有する設計とする。 *9：本機器は、大気圧付近の圧力で使用する排風機であり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *10：本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *11：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *12：溢水が滞留しない排気室に設置することから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。 *13：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。</p>	名称*	変更前	変更後	名称*	—	1号均質室系排風機*	種類*	—	遠心式	容量(風量)*	m ³ /h/基	78000	最高使用圧力*	—	— ⁹⁾	最高使用温度*	℃	40	流体等の種類*	—	空気	主要寸法			たて	mm	1880	横	mm	3350	高さ	mm	2650	主要材料	—	炭素鋼 ¹⁰⁾	ケージング	—	—	個数*	基	2(内予備1)	系統名(ライン名)	—	1号均質室系	設置床(室名称)*	—	排気室	溢水防護上の区画番号	—	— ¹¹⁾	溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	— ¹²⁾	種類	—	誘導電動機 ¹³⁾	出力	kW/基	90 ¹³⁾	個数	基	2(内予備1) ¹²⁾	取付箇所	—	排気室 ¹³⁾	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：○○</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)</td> <td>溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける</td> <td>第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計</td> </tr> <tr> <td>第二十三条 換気設備</td> <td>【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする</td> <td>風量：○○m³/h/基</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)		様式-6,7		第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○	第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)	溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける	第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計	第二十三条 換気設備	【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする	風量：○○m ³ /h/基	<p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)並びに設計上の空気の流入率</p> <p>・常設</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン^{*1)}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>遠心式^{*2)}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個^{*3)}</td> <td>5100以上(5100^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>450^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>350^{*4)}×500^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1415^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1132^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1020^{*4)}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系^{*1)}</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.23.00 m^{*5)}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機^{*5)}</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>7.5^{*5)}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2^{*5)}</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>排風機と同じ^{*5)}</td> </tr> <tr> <td>設計上の空気の流入率</td> <td>回/h</td> <td>1.0^{*5)}</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排風機」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「m³/h」と記載。 *4：公称値を示す。 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名称	変更前	変更後	名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1)}	変更なし	種類	—	遠心式 ^{*2)}	容量	m ³ /h/個 ^{*3)}	5100以上(5100 ^{*4)}	吸込口径	mm	450 ^{*4)}	吐出口径	mm	350 ^{*4)} ×500 ^{*4)}	たて	mm	1415 ^{*4)}	横	mm	1132 ^{*4)}	高さ	mm	1020 ^{*4)}	個数	—	2	系統名(ライン名)	—	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系 ^{*1)}	設置床	—	EL.23.00 m ^{*5)}	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	種類	—	誘導電動機 ^{*5)}	出力	kW/個	7.5 ^{*5)}	個数	—	2 ^{*5)}	取付箇所	—	排風機と同じ ^{*5)}	設計上の空気の流入率	回/h	1.0 ^{*5)}	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>中央制御室の居住性に係る排風機ではないため、「設計上の空気の流入率」は記載していない。</p>
設備機器名称	均質室系排風機	区分	放射性廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																					
台数	2基 (100%×2)																																																																																																																																																																																																							
設置場所	排気室																																																																																																																																																																																																							
臨界管理																																																																																																																																																																																																								
放射線防護																																																																																																																																																																																																								
耐震	第2・類																																																																																																																																																																																																							
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																																																																																																																							
型式	遠心式																																																																																																																																																																																																							
主要寸法	幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm																																																																																																																																																																																																							
主要材料	炭素鋼(SS41)																																																																																																																																																																																																							
性能	風量：78000m ³ /h/基以上																																																																																																																																																																																																							
燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																								
その他	(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-14に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。																																																																																																																																																																																																							
名称*	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																						
名称*	—	1号均質室系排風機*																																																																																																																																																																																																						
種類*	—	遠心式																																																																																																																																																																																																						
容量(風量)*	m ³ /h/基	78000																																																																																																																																																																																																						
最高使用圧力*	—	— ⁹⁾																																																																																																																																																																																																						
最高使用温度*	℃	40																																																																																																																																																																																																						
流体等の種類*	—	空気																																																																																																																																																																																																						
主要寸法																																																																																																																																																																																																								
たて	mm	1880																																																																																																																																																																																																						
横	mm	3350																																																																																																																																																																																																						
高さ	mm	2650																																																																																																																																																																																																						
主要材料	—	炭素鋼 ¹⁰⁾																																																																																																																																																																																																						
ケージング	—	—																																																																																																																																																																																																						
個数*	基	2(内予備1)																																																																																																																																																																																																						
系統名(ライン名)	—	1号均質室系																																																																																																																																																																																																						
設置床(室名称)*	—	排気室																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の区画番号	—	— ¹¹⁾																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	— ¹²⁾																																																																																																																																																																																																						
種類	—	誘導電動機 ¹³⁾																																																																																																																																																																																																						
出力	kW/基	90 ¹³⁾																																																																																																																																																																																																						
個数	基	2(内予備1) ¹²⁾																																																																																																																																																																																																						
取付箇所	—	排気室 ¹³⁾																																																																																																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																						
	様式-6,7																																																																																																																																																																																																							
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○																																																																																																																																																																																																						
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○																																																																																																																																																																																																						
第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)	溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)																																																																																																																																																																																																						
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける	第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計																																																																																																																																																																																																						
第二十三条 換気設備	【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする	風量：○○m ³ /h/基																																																																																																																																																																																																						
名称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																						
名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン ^{*1)}	変更なし																																																																																																																																																																																																						
種類	—	遠心式 ^{*2)}																																																																																																																																																																																																						
容量	m ³ /h/個 ^{*3)}	5100以上(5100 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
吸込口径	mm	450 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
吐出口径	mm	350 ^{*4)} ×500 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
たて	mm	1415 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
横	mm	1132 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
高さ	mm	1020 ^{*4)}																																																																																																																																																																																																						
個数	—	2																																																																																																																																																																																																						
系統名(ライン名)	—	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系 ^{*1)}																																																																																																																																																																																																						
設置床	—	EL.23.00 m ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																																																																																						
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																																																																																						
種類	—	誘導電動機 ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
出力	kW/個	7.5 ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
個数	—	2 ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
取付箇所	—	排風機と同じ ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
設計上の空気の流入率	回/h	1.0 ^{*5)}																																																																																																																																																																																																						
<p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>基本設計方針で展開。</p>																																																																																																																																																																																																								

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

仕様表記載例 (機種：主配管 (1号排気ダクト))

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																					
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-14 気体廃棄物の廃棄設備の仕様 (主要排気ダクト)</p> <table border="1"> <tr><td>設備機器名称</td><td>主要排気ダクト</td></tr> <tr><td>台数</td><td>一式</td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理水処理室、保管室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室</td></tr> <tr><td>境界管理</td><td></td></tr> <tr><td>放射線防護</td><td></td></tr> <tr><td>耐震</td><td>第3類</td></tr> <tr><td>材料・構造 (温度、圧力)</td><td>温度：常温 圧力：—</td></tr> <tr><td>型式</td><td></td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>幅：約150～約3600mm 高さ：約150～約3600mm 呼び径：約350～約500φ</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>炭素鋼 (亜鉛鉄板、SS41)</td></tr> <tr><td>性能</td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質の状態</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>(1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。 排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が外へ漏れ出すことを防止する。 (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。</td></tr> <tr><td>添付図</td><td>図-16、図-17</td></tr> </table> <p>別添(イ)</p>	設備機器名称	主要排気ダクト	台数	一式	設置場所	A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理水処理室、保管室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室	境界管理		放射線防護		耐震	第3類	材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—	型式		主要寸法	幅：約150～約3600mm 高さ：約150～約3600mm 呼び径：約350～約500φ	主要材料	炭素鋼 (亜鉛鉄板、SS41)	性能		核燃料物質の状態		その他	(1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。 排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が外へ漏れ出すことを防止する。 (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。	添付図	図-16、図-17	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>型式</th> <th>設置場所</th> <th>主要材料</th> <th>高さ</th> <th>外径</th> <th>最大使用圧力</th> <th>温度</th> <th>用途</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1号中間室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1号発生回収室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>1200</td> <td>1200</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1号均質室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。 *5：当該ダクトは、大気圧付近の圧力で使用するダクトであり、その機能及び構造上としないため、最高使用圧力を設定しない。 *6：角ダクトの寸法を示す。 *7：UF₆を内包する機器でなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>	名称	型式	設置場所	主要材料	高さ	外径	最大使用圧力	温度	用途	備考	1号中間室排気ダクト	—	—	炭素鋼	500	500	0.014 ^{*)}	40	排気	—	1号発生回収室排気ダクト	—	—	炭素鋼	1200	1200	0.014 ^{*)}	40	排気	—	1号均質室排気ダクト	—	—	炭素鋼	600	600	0.014 ^{*)}	40	排気	—	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②等</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>様式-6,7 【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：○○</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②等	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>型式</th> <th>設置場所</th> <th>主要材料</th> <th>高さ</th> <th>外径</th> <th>最大使用圧力</th> <th>温度</th> <th>用途</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1号中間室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1号発生回収室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>1200</td> <td>1200</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1号均質室排気ダクト</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>炭素鋼</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>0.014^{*)}</td> <td>40</td> <td>排気</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。 *5：当該ダクトは、大気圧付近の圧力で使用するダクトであり、その機能及び構造上としないため、最高使用圧力を設定しない。 *6：角ダクトの寸法を示す。 *7：UF₆を内包する機器でなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>	名称	型式	設置場所	主要材料	高さ	外径	最大使用圧力	温度	用途	備考	1号中間室排気ダクト	—	—	炭素鋼	500	500	0.014 ^{*)}	40	排気	—	1号発生回収室排気ダクト	—	—	炭素鋼	1200	1200	0.014 ^{*)}	40	排気	—	1号均質室排気ダクト	—	—	炭素鋼	600	600	0.014 ^{*)}	40	排気	—	<p>備考</p>
設備機器名称	主要排気ダクト																																																																																																																								
台数	一式																																																																																																																								
設置場所	A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理水処理室、保管室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室																																																																																																																								
境界管理																																																																																																																									
放射線防護																																																																																																																									
耐震	第3類																																																																																																																								
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																																								
型式																																																																																																																									
主要寸法	幅：約150～約3600mm 高さ：約150～約3600mm 呼び径：約350～約500φ																																																																																																																								
主要材料	炭素鋼 (亜鉛鉄板、SS41)																																																																																																																								
性能																																																																																																																									
核燃料物質の状態																																																																																																																									
その他	(1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。 排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が外へ漏れ出すことを防止する。 (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。																																																																																																																								
添付図	図-16、図-17																																																																																																																								
名称	型式	設置場所	主要材料	高さ	外径	最大使用圧力	温度	用途	備考																																																																																																																
1号中間室排気ダクト	—	—	炭素鋼	500	500	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																
1号発生回収室排気ダクト	—	—	炭素鋼	1200	1200	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																
1号均質室排気ダクト	—	—	炭素鋼	600	600	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																
技術基準	機能要求②等	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																							
第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○																																																																																																																							
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○																																																																																																																							
名称	型式	設置場所	主要材料	高さ	外径	最大使用圧力	温度	用途	備考																																																																																																																
1号中間室排気ダクト	—	—	炭素鋼	500	500	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																
1号発生回収室排気ダクト	—	—	炭素鋼	1200	1200	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																
1号均質室排気ダクト	—	—	炭素鋼	600	600	0.014 ^{*)}	40	排気	—																																																																																																																

該当しないため、記載を削除。

工事における隔離措置として工事の方法に展開。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

加工施設の耐震性に関する説明書に示す。

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

仕様表記載例 (機種：フィルタ (1号均質室系排気フィルタユニット))

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																														
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-3 気体廃棄物の処理設備の仕様 (均質室系排気フィルタユニット)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>均質室系排気フィルタユニット</td> <td>区分</td> <td>気体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>14基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2.類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) (特材)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>フィルタユニット捕集効率：99.9%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-3、図-14</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設備機器名称	均質室系排気フィルタユニット	区分	気体廃棄物の廃棄設備	台数	14基			設置場所	排気室			境界管理				放射線防護				耐震	第2.類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：-			型式	バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)			主要寸法	幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm			主要材料	炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) (特材)			性能	フィルタユニット捕集効率：99.9%以上			核燃料物質の状態				その他	プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。			添付図	図-3、図-14			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>-</td> <td>1号均質室系排気フィルタユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>-</td> <td>バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> <td>6000^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率 (捕集効率)^{*5}</td> <td>%</td> <td>99.9以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>-</td> <td>-^{*9}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>-</td> <td>排ガス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>730</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1660</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管体</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>-</td> <td>グラスウール^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数^{*6}</td> <td>基</td> <td>14 (内予備1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>1号均質室系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>-</td> <td>排気室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-^{*11}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>mm</td> <td>-^{*12}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *9：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *10：UF₆を内包する機器ではなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *11：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「-」とする。 *12：溢水が滞留しない排気室に設置することから溢水防護上の配慮が必要な高さは「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	-	1号均質室系排気フィルタユニット		種類 ^{*2}	-	バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)		容量	m ³ /h/個	6000 ^{*8}		効率 (捕集効率) ^{*5}	%	99.9以上		最高使用圧力 ^{*4}	-	- ^{*9}		最高使用温度 ^{*4}	℃	40		流体等の種類 ^{*5}	-	排ガス		主要寸法			変更なし	たて	mm	730		横	mm	1660		高さ	mm	1450		管体	-	炭素鋼 ^{*10}		ろ材	-	グラスウール ^{*10}		個数 ^{*6}	基	14 (内予備1)		系統名 (ライン名)	-	1号均質室系		設置床 (室名称) ^{*7}	-	排気室		溢水防護上の区画番号	-	- ^{*11}		溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	- ^{*12}		<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：00</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・負圧維持 (排風機、排気フィルタの改水防止)</td> <td>溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計</td> <td>効率 (捕集効率)：00%</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：00	第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持 (排風機、排気フィルタの改水防止)	溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)	第二十条 廃棄施設	【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計	効率 (捕集効率)：00%	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td>緊急時対策所非常用フィルタ装置 (00, 00 発電所共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> <td>高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率</td> <td>単体</td> <td>高性能粒子フィルタ %</td> <td>99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)</td> </tr> <tr> <td>単体</td> <td>よう素用チャコールフィルタ %</td> <td>99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>高性能粒子フィルタ %</td> <td></td> <td>99.99以上 (0.5μm粒子)</td> </tr> <tr> <td>よう素用チャコールフィルタ %</td> <td></td> <td>99.99以上 (相対湿度70%、温度10℃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7700*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2100*</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td>緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>緊急時対策所 EL. 37.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>EM-3-1</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td>EL. 37.10m</td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名称			緊急時対策所非常用フィルタ装置 (00, 00 発電所共用)	種類			高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ	効率	単体	高性能粒子フィルタ %	99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)	単体	よう素用チャコールフィルタ %	99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)	総合	高性能粒子フィルタ %		99.99以上 (0.5μm粒子)	よう素用チャコールフィルタ %		99.99以上 (相対湿度70%、温度10℃)	主要寸法	吸込口径	mm	355.6*	吐出口径	mm	355.6*	たて	mm	1500*	横	mm	7700*	高さ	mm	2100*	個数			2	取付箇所	系統名 (ライン名)		緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系	設置床		緊急時対策所 EL. 37.00m	溢水防護上の区画番号		EM-3-1	溢水防護上の配慮が必要な高さ		EL. 37.10m	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p>
設備機器名称	均質室系排気フィルタユニット	区分	気体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																															
台数	14基																																																																																																																																																																																																																	
設置場所	排気室																																																																																																																																																																																																																	
境界管理																																																																																																																																																																																																																		
放射線防護																																																																																																																																																																																																																		
耐震	第2.類																																																																																																																																																																																																																	
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：-																																																																																																																																																																																																																	
型式	バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm																																																																																																																																																																																																																	
主要材料	炭素鋼 (電気亜鉛めっき鋼板) (特材)																																																																																																																																																																																																																	
性能	フィルタユニット捕集効率：99.9%以上																																																																																																																																																																																																																	
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																																		
その他	プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。																																																																																																																																																																																																																	
添付図	図-3、図-14																																																																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																															
名称 ^{*1}	-	1号均質室系排気フィルタユニット																																																																																																																																																																																																																
種類 ^{*2}	-	バンク型 (プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段)																																																																																																																																																																																																																
容量	m ³ /h/個	6000 ^{*8}																																																																																																																																																																																																																
効率 (捕集効率) ^{*5}	%	99.9以上																																																																																																																																																																																																																
最高使用圧力 ^{*4}	-	- ^{*9}																																																																																																																																																																																																																
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																																																																																																																																																																
流体等の種類 ^{*5}	-	排ガス																																																																																																																																																																																																																
主要寸法			変更なし																																																																																																																																																																																																															
たて	mm	730																																																																																																																																																																																																																
横	mm	1660																																																																																																																																																																																																																
高さ	mm	1450																																																																																																																																																																																																																
管体	-	炭素鋼 ^{*10}																																																																																																																																																																																																																
ろ材	-	グラスウール ^{*10}																																																																																																																																																																																																																
個数 ^{*6}	基	14 (内予備1)																																																																																																																																																																																																																
系統名 (ライン名)	-	1号均質室系																																																																																																																																																																																																																
設置床 (室名称) ^{*7}	-	排気室																																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の区画番号	-	- ^{*11}																																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	- ^{*12}																																																																																																																																																																																																																
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00																																																																																																																																																																																																																
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：00																																																																																																																																																																																																																
第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持 (排風機、排気フィルタの改水防止)	溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)																																																																																																																																																																																																																
第二十条 廃棄施設	【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計	効率 (捕集効率)：00%																																																																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																															
名称			緊急時対策所非常用フィルタ装置 (00, 00 発電所共用)																																																																																																																																																																																																															
種類			高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ																																																																																																																																																																																																															
効率	単体	高性能粒子フィルタ %	99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)																																																																																																																																																																																																															
	単体	よう素用チャコールフィルタ %	99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)																																																																																																																																																																																																															
総合	高性能粒子フィルタ %		99.99以上 (0.5μm粒子)																																																																																																																																																																																																															
	よう素用チャコールフィルタ %		99.99以上 (相対湿度70%、温度10℃)																																																																																																																																																																																																															
主要寸法	吸込口径	mm	355.6*																																																																																																																																																																																																															
	吐出口径	mm	355.6*																																																																																																																																																																																																															
	たて	mm	1500*																																																																																																																																																																																																															
	横	mm	7700*																																																																																																																																																																																																															
	高さ	mm	2100*																																																																																																																																																																																																															
個数			2																																																																																																																																																																																																															
取付箇所	系統名 (ライン名)		緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系																																																																																																																																																																																																															
	設置床		緊急時対策所 EL. 37.00m																																																																																																																																																																																																															
	溢水防護上の区画番号		EM-3-1																																																																																																																																																																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		EL. 37.10m																																																																																																																																																																																																															

基本設計方針で展開。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

仕様表記載例（機種：無停電電源装置（2号無停電電源装置））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																														
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>表-1 非常用設備の仕様（2号無停電電源装置）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号無停電電源装置</td> <td>区分</td> <td>非常用電源設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>4台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>非常用電源室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>案</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>作</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td colspan="3">CVC F型インバータ（容量：60 kVA/台）</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">幅：5230 mm 奥行：1000 mm 高さ：1950 mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼（SS400）（鋼体）</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>按拠材料物量の状況</td> <td colspan="3">2号無停電電源装置は、外部電源喪失時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-1、図-5、図-9、図-10</td> </tr> </table>	設備機器名称	2号無停電電源装置	区分	非常用電源設備	台数	4台			設置場所	非常用電源室			設計				計				案				作				仕様				形式	CVC F型インバータ（容量：60 kVA/台）			主要寸法	幅：5230 mm 奥行：1000 mm 高さ：1950 mm			主要材料	炭素鋼（SS400）（鋼体）			性能				按拠材料物量の状況	2号無停電電源装置は、外部電源喪失時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。			その他				添付図	図-1、図-5、図-9、図-10			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>-</td> <td>2号無停電電源装置（A-1、A-2）^{*2} インバータ盤</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類^{*4}</td> <td>-</td> <td>出力切替盤</td> <td>蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））</td> </tr> <tr> <td>容量^{*5}</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インバータ盤</td> <td>A-1, A-2</td> <td>kVA/台 60</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>A-1, A-2</td> <td>Ah/10 hr/基 -</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td></td> <td>V 420^{*6}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td></td> <td>Hz 50^{*6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">インバータ盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出力切替盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">蓄電池盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インバータ盤</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出力切替盤</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>-</td> <td>非常用電源系</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）^{*4}</td> <td>-</td> <td>非常用電源室</td> <td>非常用電源室 非常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。 *6：新設機器であるため「-」とする。 *7：UF₆を内包する機器ではなく、耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p> <p>【補足説明】 既認可においては、A-1、A-2、B-1、B-2 で一つの仕様表としており、台数は4台。今回の申請においては、A-1、A-2 と B-1、B-2 で仕様表を分けるため台数はそれぞれ2台となる。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	-	2号無停電電源装置（A-1、A-2） ^{*2} インバータ盤	変更なし	種類 ^{*4}	-	出力切替盤	蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））	容量 ^{*5}				インバータ盤	A-1, A-2	kVA/台 60	変更なし	蓄電池盤	A-1, A-2	Ah/10 hr/基 -	300	電圧		V 420 ^{*6}	変更なし	周波数		Hz 50 ^{*6}		主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800	横	mm	1800	高さ	mm	1950	出力切替盤	たて	mm	800	横	mm	1600	高さ	mm	1950	蓄電池盤	たて	mm	900	横	mm	3800	高さ	mm	1950	主要材料				インバータ盤	-	炭素鋼 ^{*7}	変更なし	出力切替盤	-	-	炭素鋼 ^{*7}	蓄電池盤	-	-	炭素鋼 ^{*7}	個数 ^{*3}	台	2	変更なし	系統名（ライン名）	-	非常用電源系	変更なし	設置床（室名称） ^{*4}	-	非常用電源室	非常用電源室 非常用電源室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</p> </td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</p> </td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第二十四条 非常用電源設備</td> <td> <p>【手段：設備】 ・外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</p> </td> <td>容量：〇〇 電圧：〇〇 V 周波数：〇〇 Hz</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</p>	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</p>	主要材料：〇〇	第二十四条 非常用電源設備	<p>【手段：設備】 ・外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</p>	容量：〇〇 電圧：〇〇 V 周波数：〇〇 Hz	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td>非常用無停電電源装置</td> <td>非常用無停電電源装置</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td>静止形定電圧定周波数電源装置</td> <td>静止形定電圧定周波数電源装置</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電圧</td> <td>入力</td> <td>V</td> <td>交流 440</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>V</td> <td>直流 125</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">周波数</td> <td>入力</td> <td>Hz</td> <td>交流 120</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>Hz</td> <td>50 及び 直流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個数</td> <td></td> <td></td> <td>3200*</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2300*</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>-</td> <td>非常用無停電電源装置 A</td> <td>非常用無停電電源装置 B</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>-</td> <td>EL. 8.20 m</td> <td>EL. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">添付図</td> <td>図面番号</td> <td>CS-1-3</td> <td>CS-1-3</td> </tr> <tr> <td>図面番号</td> <td>EL. 8.20 m 以上</td> <td>EL. 8.20 m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名称	-	非常用無停電電源装置	非常用無停電電源装置	種類	-	静止形定電圧定周波数電源装置	静止形定電圧定周波数電源装置	容量	kVA/個	35	35	電圧	入力	V	交流 440	出力	V	直流 125	周波数	入力	Hz	交流 120	出力	Hz	50 及び 直流	主要寸法	たて	mm	50	横	mm	1300*	個数			3200*			2300*	系統名（ライン名）	-	非常用無停電電源装置 A	非常用無停電電源装置 B	設置床	-	EL. 8.20 m	EL. 8.20 m	添付図	図面番号	CS-1-3	CS-1-3	図面番号	EL. 8.20 m 以上	EL. 8.20 m 以上	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
設備機器名称	2号無停電電源装置	区分	非常用電源設備																																																																																																																																																																																																																															
台数	4台																																																																																																																																																																																																																																	
設置場所	非常用電源室																																																																																																																																																																																																																																	
設計																																																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																																																		
案																																																																																																																																																																																																																																		
作																																																																																																																																																																																																																																		
仕様																																																																																																																																																																																																																																		
形式	CVC F型インバータ（容量：60 kVA/台）																																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	幅：5230 mm 奥行：1000 mm 高さ：1950 mm																																																																																																																																																																																																																																	
主要材料	炭素鋼（SS400）（鋼体）																																																																																																																																																																																																																																	
性能																																																																																																																																																																																																																																		
按拠材料物量の状況	2号無停電電源装置は、外部電源喪失時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。																																																																																																																																																																																																																																	
その他																																																																																																																																																																																																																																		
添付図	図-1、図-5、図-9、図-10																																																																																																																																																																																																																																	
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																															
名称 ^{*1}	-	2号無停電電源装置（A-1、A-2） ^{*2} インバータ盤	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
種類 ^{*4}	-	出力切替盤	蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））																																																																																																																																																																																																																															
容量 ^{*5}																																																																																																																																																																																																																																		
インバータ盤	A-1, A-2	kVA/台 60	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
蓄電池盤	A-1, A-2	Ah/10 hr/基 -	300																																																																																																																																																																																																																															
電圧		V 420 ^{*6}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
周波数		Hz 50 ^{*6}																																																																																																																																																																																																																																
主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800																																																																																																																																																																																																																														
		横	mm	1800																																																																																																																																																																																																																														
		高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																														
	出力切替盤	たて	mm	800																																																																																																																																																																																																																														
		横	mm	1600																																																																																																																																																																																																																														
		高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																														
蓄電池盤	たて	mm	900																																																																																																																																																																																																																															
	横	mm	3800																																																																																																																																																																																																																															
	高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																															
主要材料																																																																																																																																																																																																																																		
インバータ盤	-	炭素鋼 ^{*7}	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
出力切替盤	-	-	炭素鋼 ^{*7}																																																																																																																																																																																																																															
蓄電池盤	-	-	炭素鋼 ^{*7}																																																																																																																																																																																																																															
個数 ^{*3}	台	2	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
系統名（ライン名）	-	非常用電源系	変更なし																																																																																																																																																																																																																															
設置床（室名称） ^{*4}	-	非常用電源室	非常用電源室 非常用電源室																																																																																																																																																																																																																															
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																
第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</p>	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																
第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</p>	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																
第二十四条 非常用電源設備	<p>【手段：設備】 ・外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</p>	容量：〇〇 電圧：〇〇 V 周波数：〇〇 Hz																																																																																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																															
名称	-	非常用無停電電源装置	非常用無停電電源装置																																																																																																																																																																																																																															
種類	-	静止形定電圧定周波数電源装置	静止形定電圧定周波数電源装置																																																																																																																																																																																																																															
容量	kVA/個	35	35																																																																																																																																																																																																																															
電圧	入力	V	交流 440																																																																																																																																																																																																																															
	出力	V	直流 125																																																																																																																																																																																																																															
周波数	入力	Hz	交流 120																																																																																																																																																																																																																															
	出力	Hz	50 及び 直流																																																																																																																																																																																																																															
主要寸法	たて	mm	50																																																																																																																																																																																																																															
	横	mm	1300*																																																																																																																																																																																																																															
個数			3200*																																																																																																																																																																																																																															
			2300*																																																																																																																																																																																																																															
系統名（ライン名）	-	非常用無停電電源装置 A	非常用無停電電源装置 B																																																																																																																																																																																																																															
設置床	-	EL. 8.20 m	EL. 8.20 m																																																																																																																																																																																																																															
添付図	図面番号	CS-1-3	CS-1-3																																																																																																																																																																																																																															
	図面番号	EL. 8.20 m 以上	EL. 8.20 m 以上																																																																																																																																																																																																																															

該当しないため、記載を削除。

基本設計方針で展開。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

仕様表記載例（機種：計装/放管設備（モニタリングポスト））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																			
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前^{*1}</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td>モニタリングポスト^{*2}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション 電離箱</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測範囲</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション</td> <td>μ Gy/h</td> <td>$10^{-2} \sim 10^1$</td> </tr> <tr> <td>電離箱</td> <td>μ Gy/h</td> <td>$10^0 \sim 10^5$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">警報動作範囲</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション</td> <td>μ Gy/h</td> <td>$10^{-2} \sim 10^1$</td> </tr> <tr> <td>電離箱</td> <td>μ Gy/h</td> <td>$10^0 \sim 10^5$</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—^{*3}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床（室名称）</td> <td>—</td> <td>周辺監視区域境界付近</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既設工認には記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *2：本機器は、廃棄物埋設施設と共用（計測値のみ）する。 *3：系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前 ^{*1}	変更後	名称	—	モニタリングポスト ^{*2}		個数	台	3		検出器の種類	—	NaI(Tl)シンチレーション 電離箱		計測範囲	NaI(Tl)シンチレーション	μ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$	電離箱	μ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$	警報動作範囲	NaI(Tl)シンチレーション	μ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$	電離箱	μ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$	取付箇所	系統名（ライン名）	—	— ^{*3}		設置床（室名称）	—	周辺監視区域境界付近	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による 損傷の 防止</td> <td> <p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 </td> <td>耐震重要度分類：第〇類</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 </td> <td> 検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇 </td> </tr> <tr> <td>第十九条 放射線管 理施設</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 </td> <td> 検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇 </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による 損傷の 防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 	耐震重要度分類：第〇類	第十八条 警報設備	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇	第十九条 放射線管 理施設	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇	<p>(3) 固定式周辺モニタリング設備の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所（監視・記録の場所を付記すること。）及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用）^{*1}</td> <td>シンチレーション^{*2}</td> <td>$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h</td> <td>電離箱^{*2}</td> <td>$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>$10^1 \sim 10^5$ nGy/h^{*3}</td> <td>—</td> <td>$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h^{*3}</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td>屋外 EL約4 m, EL約8 m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界近傍 (監視・記録は中央制御室)^{*4}</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>4^{*4} *5</td> <td>—</td> <td>4^{*4} *5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「モニタリングポスト（東海発電所と共用）」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「シンチレーション及び電離箱」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「計測範囲内で可変」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「発電所周辺監視区域境界近傍に4箇所設置（監視・記録は中央制御室にて行う）」と記載。 *5：モニタリング・ポストは4箇所あり、モニタリング・ポスト1箇所あたりの検出器の個数は「1」である。</p>	名称	変更前		変更後		検出器の種類	計測範囲	検出器の種類	計測範囲	モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用） ^{*1}	シンチレーション ^{*2}	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h	電離箱 ^{*2}	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h	—	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h ^{*3}	—	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h ^{*3}	—	—	—	—	—	取付箇所	—	屋外 EL約4 m, EL約8 m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界近傍 (監視・記録は中央制御室) ^{*4}	—	—	設置床	—	—	—	—	溢水防護上の 区画番号	—	—	—	—	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	—	—	個数	—	4 ^{*4} *5	—	4 ^{*4} *5	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
		変更前 ^{*1}	変更後																																																																																																				
名称	—	モニタリングポスト ^{*2}																																																																																																					
個数	台	3																																																																																																					
検出器の種類	—	NaI(Tl)シンチレーション 電離箱																																																																																																					
計測範囲	NaI(Tl)シンチレーション	μ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$																																																																																																				
	電離箱	μ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$																																																																																																				
警報動作範囲	NaI(Tl)シンチレーション	μ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$																																																																																																				
	電離箱	μ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$																																																																																																				
取付箇所	系統名（ライン名）	—	— ^{*3}																																																																																																				
	設置床（室名称）	—	周辺監視区域境界付近																																																																																																				
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																					
第六条 地震による 損傷の 防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静的設計法 波及的影響の考慮 上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施 	耐震重要度分類：第〇類																																																																																																					
第十八条 警報設備	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇																																																																																																					
第十九条 放射線管 理施設	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。 	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 μ Gy/h 警報動作範囲：〇〇																																																																																																					
名称	変更前		変更後																																																																																																				
	検出器の種類	計測範囲	検出器の種類	計測範囲																																																																																																			
モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用） ^{*1}	シンチレーション ^{*2}	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h	電離箱 ^{*2}	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h																																																																																																			
—	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h ^{*3}	—	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h ^{*3}																																																																																																			
—	—	—	—	—																																																																																																			
取付箇所	—	屋外 EL約4 m, EL約8 m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界近傍 (監視・記録は中央制御室) ^{*4}	—	—																																																																																																			
設置床	—	—	—	—																																																																																																			
溢水防護上の 区画番号	—	—	—	—																																																																																																			
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	—	—																																																																																																			
個数	—	4 ^{*4} *5	—	4 ^{*4} *5																																																																																																			

加工施設におけるインターロック機能の示し方について（全社調整中（未確定事項））

【仕様表でのインターロック機能の示し方】

2. UF₆処理設備 ←

○計器の仕様表は、関連する機器と同じ設備区分で示す。

(4) 機械装置類

		変更前	変更後	
名称 ^{*1}	—	2号発生槽 ^{*10}	変更なし	
種類 ^{*2}	—	温水加熱式（直接加熱）		
最高使用圧力 ^{*3}	hPa	上限：960 下限：0		
最高使用温度 ^{*5}	℃	100		
流体等の種類 ^{*4}	—	固体 UF ₆ 、気体 UF ₆		
臨界管理	—	— ^{*9}		
主要寸法	たて	mm		■
	横	mm		■
	高さ	mm		■
主要材料	カバー	—		■
	槽本体	—	■	
個数 ^{*6}	基	7		
取付箇所	系統名（ライン名）	—	発生・供給系	
	設置床（室名称） ^{*8}	—	2号発回均質室	

注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。
 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。
 *3：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。
 *4：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。
 *5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。
 *6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。
 *7：2号発生槽への装荷物は原料シリンダ1本/基とし、シリンダ搬送用子台車を有する設計とする。
 *8：本機器は、圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック（検出器：原料シリンダ内圧力計、発生槽内温度計）、地震発生時の加熱停止のインターロック（検出器：地震計）、温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック（検出器：温水ユニット温度計）の機能を有する。
 *9：装荷物（原料シリンダ1本/基）は、取り扱う UF₆ の濃縮度が 0.95 % 以下であることから臨界管理を必要としない。
 *10：本設備は既存の設備である。

2. UF₆処理設備

(5) 計装設備
2号発生槽^{*1}の計測制御系

		変更前	変更後
名称	—	原料シリンダ内圧力計 ^{*3}	変更なし
検出器の種類	—	絶対圧力伝送器	
計測範囲	hPa	0 ~ 1333	
警報動作範囲	—	大気圧を超えない範囲（960 hPa以下）	
個数	台	7 ^{*2}	
取付箇所	—	—	
取付箇所	系統名（ライン名）	—	原料シリンダ内圧力 ^{*3}
	設置床（室名称）	—	2号発回均質室

注記 *1：対象機器は、7基
 *2：対象計器は、3PT-U004-A, 3PT-U004-B, 3PT-U004-C, 3PT-U004-D, 3PT-U004-E, 3PT-U004-F, 3PT-U004-G
 *3：既設工認に記載がないため、記載の適正化。記載内容は、設計図書による。

【複数設備で使用する計器の示し方】

1. カスケード設備

(5) 計装設備
主要配管の計測制御系

		変更前	変更後	
名称	—	—	地震計 ^{*4}	
検出器の種類	—		地震計（水平）	地震計（鉛直）
	計測範囲		—	—
警報動作範囲	Gal		250	125
個数	台		6 ^{*3}	6 ^{*3}
取付箇所	系統名（ライン名）		—	—
	設置床（室名称）	—	2号 UF ₆ 電源室	

注記 *1：対象計器は、A系：XE-Y201-A, XE-Y201-B, XE-Y201-C, B系：XE-Y202-A, XE-Y202-B, XE-Y202-C
 *2：対象計器は、A系：XE-Y202-A, XE-Y202-B, XE-Y202-C, B系：XE-Y204-A, XE-Y204-B, XE-Y204-C
 *3：施設共通として、A系、B系の2系統設置する。各系統において水平、鉛直それぞれ3個の検出器からなる並列の論理回路を構成し、2個以上の検出器が同時に検出すればインターロックが動作する。
 *4：本検出器は、施設共通として、本設備の他、UF₆処理設備、均質ブレンディング設備の地震発生時の加熱停止のインターロックの検出器として使用する。

○複数設備で使用する計器は、最初に示される設備（地震計の場合はカスケード設備）に当該計器の仕様表を記載し、他設備のインターロックで使用されることを明記する。

○注記に関連する計器の名称を記載し、計器の仕様表と紐付けする。

○インターロックの動作内容（加熱を停止する等）は基本設計方針に記載し、動作内容の具体的情報（動作端の弁、冷凍機、電気ヒータ等）は、警報設備等に係る説明書に記載する。

○事業変更許可にて、インターロック機能は機器に含まれる機能としているため、機器の注記としてインターロック機能を記載する。